

平成28年度  
田上町教育に関する事務の  
点検及び評価報告書

平成29年9月  
田上町教育委員会

# 目 次

1. 学校教育環境の整備		
教育方針の計画的な展開	総合評価：A (91.6)	P 1
家庭や地域との連携	総合評価：A (95.0)	P 2
教育環境の整備	総合評価：A (90.0)	P 3
2. 教育内容の充実		
学ぶ意欲と確かな学力の向上	総合評価：A (85.0)	P 5
創意工夫を生かした教育活動の充実	総合評価：A (87.5)	P 7
いじめ、不登校に対応した指導体制	総合評価：A (100)	P 8
特別支援教育の充実	総合評価：A (100)	P 9
3. 生涯学習の条件整備		
生涯学習推進体制の強化	総合評価：A (87.5)	P 1 0
指導者・指導体制の充実	総合評価：B (75.0)	P 1 1
施設整備	総合評価：A (100)	P 1 2
4. 主体的な学習活動の支援		
学習機会の充実	総合評価：A (88.8)	P 1 3
主体的な活動への支援	総合評価：B (75.0)	P 1 5
5. 生涯スポーツの普及		
生涯スポーツの普及	総合評価：B (75.0)	P 1 6
スポーツ施設の整備	総合評価：A (87.5)	P 1 7
主体的な活動の促進	総合評価：A (87.5)	P 1 8
6. 芸術・文化の振興		
芸術文化活動の推進	総合評価：A (87.5)	P 1 9
活動組織、指導者の育成	総合評価：B (75.0)	P 1 9
7. 文化財と伝統芸能の継承		
文化財の保存・活用	総合評価：B (75.0)	P 2 0
伝統芸能の継承	総合評価：B (75.0)	P 2 1

## 評価方法

各事業評価の数値化      a =100      b =75      c =50      d =25

各項目の評価基準      A =100～81      B =80～61      C =60～41      D =40 以下

各事業の評価を数値化し、その平均値を上記の評価基準に基づいた総合評価を行った。

(小数点第2位以下切り捨て)

# 1. 学校教育環境の整備

教育方針の計画的な展開

総合評価：A (91.6)

施策のねらい

田上町の教育方針の理解推進を図り、教育方針に沿った学校運営、教育活動を展開する

## (1) 「田上の12か年教育」の理念継承

評価：a

### 【事業の概要】

「田上の12か年教育」の理念と取り組みを園・学校・地域が共有し合って、互いの役割を担いながら田上の子どもの教育にあたる。

### 【成果】

年度当初に各学校を訪問し教育長講話を実施。転入職員には、「田上の12か年教育」の背景や目指す子ども像を理解する機会となっており、管理職は自校の運営に「田上の12か年教育」の理念を反映させることができた。

### 【課題・意見】

平成22年度からの取組を中間評価としてまとめたので、今後の取り組みを一層向上させる仕組みづくりに活用していきたい。また、地域や家庭に「田上の12か年教育」の理解を一層深めていく必要がある。

## (2) キャリア教育の推進

評価：a

### 【事業の概要】

田上の子どもの田上で多くの人と関わり、多様な経験を積んでいく地域学習を通して、子どもの自立を育む。

### 【成果】

田上小学校の「田上の伝統文化」、羽生田小学校の「竹プロジェクト」、田上中学校の「田上町元気にし隊大作戦」、「職場体験学習」等、町を学ぶ活動が充実してきた。「田上町元気にし隊大作戦」は田上町商工会から感謝状をいただくなど、子どもの活動を評価する方々が増えている。これらの取り組みが評価され、第10回キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰を受賞した。

### 【課題・意見】

広報紙「きずな」に「田上中学校特集コーナー」が定期的に掲載されることになった。地域、家庭への情報発信を推進し、学校の応援団を増やしていく必要がある。

## (3) 学習指導要領の徹底

評価：b

### 【事業の概要】

学習指導要領の趣旨を徹底するとともに、その目標を達成できるよう幼稚園、小学校、中学校が連携して取り組む体制を構築する。

### 【成果】

小中学校で、自校の実態に即して「関わり合う授業」を校内研修のテーマに据えて実践した。小中学校教職員の協働による指導案作成、授業参観及び協議等で、学習指導要領に基づいた授業改善に係る連携が推進されている。

**【課題・意見】**

次期学習指導要領への対応準備を進め、その趣旨と「田上の12か年教育」との効果的な融合を具体化することが課題である。

**家庭や地域との連携**

**総合評価：A (95.0)**

**施策のねらい**

家庭、地域、学校が連携することにより、町全体で子どもを育む体制を構築するとともに、「開かれた学校」づくりを目指す

**(1) 学校評議員制度**

**評価：a**

**【事業の概要】**

学校・家庭・地域が連携協力しながら、一体となって子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりを推進する。

**【成果】**

田上小学校5人、羽生田小学校4人、田上中学校4人、計13人の学校評議員を委嘱。学校運営や学校評価に対する意見を取り入れるなど、地域の意見を反映させた学校運営を推進した。

**【課題・意見】**

国では「開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を推進している。「田上の12か年教育」を推進するために新たな仕組みを構築していく必要がある。

**(2) アウトメディア・ウィーク事業**

**評価：a**

**【事業の概要】**

幼児園年長児から中学校3年生までに在籍する全家庭を対象に、家庭での子どものメディア接触について、家族で考え、家族でルールを作り、家族で取り組むことを促す。

**【成果】**

年3回事業を実施した。メディア接触に伴う様々な問題啓発のチラシを作成し各家庭に配布した。保護者アンケートでは、「家族で真剣に向き合うことができた」という意見が多かった。

**【課題・意見】**

放任傾向、無関心な保護者への働きかけが課題。メディア教育を学校と保護者の連携にどう位置付けるか検討する必要がある。

**(3) 夢ナビカルテ事業**

**評価：b**

**【事業の概要】**

県教育委員会が推進する「夢ナビカルテ」を積極的に活用し、保護者が子どもの将来に対する関心を深め、「聞き上手」、「褒め上手」、「引き出し上手」になることを目指す。子どもは自己実現に取り組み、成功体験を積み重ねていくことを目指す。

**【成 果】**

28年度が初めての取り組みであったが混乱もなく実施することができた。「子どもの将来の夢」を初めて聞いたという声があった。

**【課題・意見】**

学校の授業と家庭での話し合いを連携させて「田上の12か年教育」で目指す子ども像につなげていく必要がある。

**(4) 田上夏まつり運営サポートスタッフ事業**

**評価： a**

**【事業の概要】**

小中学生が田上夏まつりに運営サポートスタッフとして参画することで、自己有用感を高めるとともに、地域との多様な関わりをもつ機会を提供する。

**【成 果】**

小学生22人、中学生19人、計41人が参加。小学生はクリーンスタッフとして、中学生はイベントの運営補助や販売補助を行った。夏まつり実行委員会から「来年も是非お願いしたい」と高い評価を得た。

**【課題・意見】**

小中学生が希望する時間帯が午前中にかたより調整が必要だった。

**(5) 小中合同あいさつ運動**

**評価： a**

**【事業の概要】**

小中学校と地域が合同で駅前あいさつ運動を展開して、あいさつを通して社会性を育む。

**【成 果】**

初めての取り組み。社会を明るくする運動、町議会、区長、民生委員、自主的に参加する地域の方で取り組むことができた。小学生は多くの人と一緒にすることで意欲を高め、中学生は小学生の模範になろうと取り組んでいた。保護者アンケートでも高評価を得た。

**【課題・意見】**

田上町の特色ある取り組みとして育てていきたい。

**教育環境の整備**

**総合評価： A (90.0)**

**施策のねらい**

教育環境の整備を行うことで、円滑な学校運営、学びの環境を確保する

**(1) スクールバスの運営**

**評価： a**

**【事業の概要】**

通学距離等の理由により、通学が困難な児童生徒の通学時間の短縮・通学時の安全確保を図り教育環境の整備を図る。

**【成 果】**

小中学校にマイクロバスを各2台配置。田上小学校81人、羽生田小学校72人、田上中学校47人が利用した（マイクロバス利用申請者数）。登下校の送迎の他、校外学習での移動、公民館事業やスポーツ少年団の事業においても運行した。

**【課題・成果】**

児童生徒数の減少にともない運行エリア等の検討が必要である。

**(2) 児童クラブの運営**

**評価：a**

**【事業の概要】**

小学校1年生から6年生を対象に、希望する児童に放課後保育を実施する。

**【成 果】**

開設日数は、田上小学校290日（平日207日、土曜・長期休暇83日）、羽生田小学校288日（平日207日、土曜・長期休暇81日）開設した。利用者は下表のとおり。

	登録者数	延べ利用者数		
		平 日	長期休暇・土曜日	計
田上小学校	62人	4,608人	1,118人	5,726人
羽生田小学校	66人	3,440人	865人	4,305人
合 計	128人	8,048人	1,983人	10,031人

**【課題・意見】**

平成32年度から「放課後児童支援員」を2人以上配置することが義務付けられているため、研修会への計画的な参加を促すなど、支援員の確保が必要となる。

**(3) 学校給食費補助事業**

**評価：a**

**【事業の概要】**

学校給食に食味のよい地元産コシヒカリを用いた米飯給食の普及定着と、米消費拡大、給食費の保護者負担の軽減に努める。また、地元農家やJAと協力して地元産食材を中心とした献立を展開する。

**【成 果】**

1,117千円を補助し地元産コシヒカリの米飯給食を提供した。また、地元産の食材を給食に使用できるように納品組合と協力して取り組んだ。

**【課題・意見】**

田上町での旬の時期をはずれると、生産量や品質等が安定しないことがある。

**(4) 学校施設の計画的な改修**

**評価：b**

**【事業の概要】**

学校施設等の維持管理のための計画策定と改修を行う。

**【成 果】**

田上中学校教務室冷房機修繕756,000円、給食センター調理場グレーチング枠取替修繕885,600円など、施設及び備品等の修繕を行った。

**【課題・意見】**

各学校とも築30年以上が経過し老朽化が進んでいる。長期的な展望に立ち、長寿寿命計画等を策定していく必要がある。

**(5) 教育教材等の計画的な整備**

**評価：b**

**【事業の成果】**

教育用コンピュータをはじめとした教育教材等を計画的に整備し、教育環境の向上を図る。

**【成 果】**

児童生徒用の教育用コンピュータ、教職員用の校務用コンピュータの平成29年度入替を目指し、導入するハード及びソフトの選定作業を行った。

**【課題・成果】**

タブレット端末など、教育現場にコンピュータの導入が求められており、計画的な整備を図っていく必要がある。

## 2.教育内容の充実

**学ぶ意欲と確かな学力の向上**

**総合評価：A (85.0)**

施策のねらい

- ・ 学力の向上
- ・ 教職員の指導力の向上

**(1) 学校指導主事の配置**

**評価：a**

**【事業の概要】**

学校運営に係る適切な指導助言、就学指導等にあたる。

**【成 果】**

初任者教諭、2年目教諭、2校目教諭、希望者を対象とした授業改善を目的とする町独自の個別研修を実施した。また、学校運営や学校課題の相談、就学指導を行った。

**【課題・意見】**

学力向上対策や「地域とともにある学校」を目指し、学校への指導助言を継続していく必要がある。

## (2) 園・校長面談

評価：b

### 【事業の概要】

各園学校のグランドデザインに基づいて学校評価、進捗状況を確認し指導する。

### 【成果】

28年度からの取り組み。教育長及び指導主事が各園校長と面談して、園学校の課題を共有し、運営改善を推進した。

### 【課題・意見】

「田上の12か年教育」との関連付けを図っていく必要がある。

## (3) 田上町教育研究協議会支援

評価：a

### 【事業の概要】

幼稚園、小中学校の教職員の連携による「田上の12か年教育」の充実に取り組む研修、活動費用を支援する。

### 【成果】

「学力向上部」、「幼小連携部」、「小中連携部」、「健康推進部」、「外国語教育部」等の部会が充実するとともに、「小中田上町合同あいさつ運動」等の新しい取り組みが生まれた。

### 【課題・意見】

教職員の多忙化解消と教育振興の両立が必要である。

## (4) NRT検査

評価：b

### 【事業の概要】

小中学校において、客観性の高いNRT検査（標準学力検査／集団基準準拠検査）を実施し、学力定着状況を把握して授業改善に活用する。

### 【成果】

小学校1年生から中学校3年生までの実態を把握することができ、その結果を基に各校長と情報を共有し、指導の改善に反映させた。

### 【課題・意見】

「小学校ではこの段階まで育成し中学校につなぐ」という連携の仕組みを構築し、一層の成果向上を図りたい。

## (5) Web検査

評価：b

### 【事業の概要】

県教育委員会のWeb配信システムに参加して、単元ごとの定着状況をきめ細かく把握し、授業改善に活用する。

### 【成果】

検査結果の状況を、学年ごとの推移や問題別正答率等のデータとしてグラフ化し、各学校へ情報提供した。

### 【課題・意見】

きめ細かなデータから、教職員一人ひとりのきめ細かな指導改善につなげていきたい。

施策のねらい

- ・ 郷土愛を育む教育活動の展開
- ・ 国際化、情報化に対応した教育の推進
- ・ 創意工夫を生かした教育活動の充実

(1) 総合学習事業

評価：b

【事業の概要】

地域の協力をいただき、各校の総合的な学習の時間における町内での多様な活動を支援する。

【成果】

田上小学校の「伝統文化学習」、羽生田小学校の「竹プロジェクト」、田上中学校の「頑張る田上人講話」など、特色ある活動が推進された。

【課題・意見】

活動を通して子どもと町民のつながりを一層高めていくことが必要である。

(2) 学校図書司書の配置

評価：a

【事業の概要】

各学校図書館の環境整備、調べ学習支援、読み聞かせなど、児童生徒の図書に触れる機会やつながりを向上させる。

【成果】

各学校に毎月約15時間、図書司書を配置し、図書整理や選書作業を行った。

【課題・意見】

月15時間程度の配置では、業務量に限りがあるため、担当の教職員と連携しながら図書環境の整備を進めていく必要がある。

(3) ALT配置

評価：b

【事業の概要】

外国語活動並びに英語指導を補助し、国際理解の推進と英語教育の推進を図る。

【成果】

2人のALTを幼稚園、小中学校に配置し、3歳児から中学校3年生までの子ども達が英語に触れる機会をつくった。

【課題・意見】

次期学習指導要領の実施に向けて、英語教育の充実の準備を進めることが課題となる。

(4) 大学連携事業

評価：a

【事業の概要】

新潟経営大学、新潟薬科大学、新潟中央短期大学と連携し、各大学の教育資源を町の教育に活用する。

**【成 果】**

理科支援員、たけのこ塾指導、児童クラブの運営補助、公民館ボランティアスタッフ、幼稚園の学生支援スタッフなど、多様な機会に協力をいただいた。

**【課題・意見】**

次期学習指導要領の実施に向けて連携を充実していく必要がある。相互に支え合う仕組みづくり、w i n - w i nな関係を向上させていく。

**いじめ、不登校に対応した指導体制**

**総合評価：A（100）**

施策のねらい

- ・ いじめ撲滅の取り組み
- ・ 人権教育の展開
- ・ 相談員の配置

**（１） いじめ見逃しゼロスクール事業**

**評価：a**

**【事業の概要】**

小中学生が一緒になり「いじめ」について考え行動することにより、いじめ撲滅、人権教育の推進を図る。

**【成 果】**

小学校6年生と中学生が合同でSNSについて話し合いや、「田上町あたたかカルタ」への取り組みなどで、人間関係づくりを学ぶことができた。この取り組みは新潟県教育委員会が発行した「いじめ、不登校等対応実践研究」に掲載された。

**【課題・意見】**

保護者や地域の関心を高めることが課題となる。

**（２） 人権教育、同和教育の推進**

**評価：a**

**【事業の概要】**

町教職員の人権教育への知識や関心を向上させる。

**【成 果】**

町教職員を対象に年2回の人権教育・同和教育に係る研修を開催。差別の実態を身近に感じるための現地研修会の際にスクールバスを運行し支援した。

**【課題・意見】**

人権、同和問題への正しい理解を一層推進し、差別の根絶を目指す必要がある。

**（３） 訪問相談員配置**

**評価：a**

**【事業の概要】**

問題を抱える幼児児童生徒やその保護者を対象に、家庭訪問を行い、相談を通して問題の解決を図る。

**【成 果】**

週3日間、訪問相談員を配置し、家庭訪問相談59回、ケース会議27回を実施。小中学校における不登校、虐待、障害など、問題を抱える児童生徒や保護者への相談業務、学校への指導、児童相談所との連携等を行った。

**【課題・意見】**

問題解決までの状況把握や保護者理解、時間を問わずに行われる相談への対応など、限られた勤務時間の中での対応、調整が課題となっている。

**特別支援教育の充実**

**総合評価：A (100)**

施策のねらい

- ・ 就学相談、教育相談の実施
- ・ 介助員を配置し学習支援、生活支援
- ・ 不登校児童生徒の自学級への復帰支援

**(1) 教育支援委員会運営事業**

**評価：a**

**【事業の概要】**

障害のある子どもたちの障害の状態、教育ニーズ、保護者の意見、医学・心理学等専門的見地からの意見等を踏まえ、その子どもに適した就学先を決定していくため、教育相談や就学相談を行う。

**【成 果】**

特別支援コーディネーター1名を幼稚園に配置し、4歳児から気になる園児の情報交換、行動観察による子ども理解、保護者の個別相談に取り組んだ。

**【課題・意見】**

共生社会の形成に向けた「インクルーシブ教育」の重要性が叫ばれるなか、適切な配慮が行えるよう、幼稚園、小中学校、教育委員会が連携し、情報共有する体制づくりが必要。

**(2) 介助員配置事業**

**評価：a**

**【事業の概要】**

特別な支援を必要とする児童生徒の身辺介助や安全確保、教育支援等を行う。

**【成 果】**

田上小学校4人、羽生田小学校3人、田上中学校1人、計8人を配置。一人ひとりの状況に応じた学習支援、生活支援を行った。

**【課題・意見】**

一人ひとりに求められる支援は多様化しており、支援を要する児童生徒の割合は増加傾向にある。

### (3) 適応指導教室

評価：a

#### 【事業の概要】

不登校等の児童生徒に対し必要な学習・教育支援を行う。

#### 【成果】

指導員1名を配置し、学習支援を行った。

#### 【課題・意見】

指導員と教職員が児童生徒の情報を共有し、連携した支援が行えるよう体制を整える必要がある。

## 3.生涯学習の条件整備

生涯学習推進体制の強化

総合評価：A (87.5)

#### 施策のねらい

- ・ 学習情報の提供
- ・ 生涯学習の体制づくり
- ・ 学習成果を生かせるシステム確立

### (1) 生涯学習情報の発行事業

評価：a

#### 【事業の概要】

各種講座やサークル等の情報を掲載した生涯学習情報を発行する。

#### 【成果】

毎月1回、町内全世帯に配布し、生涯学習事業の周知、参加促進を図ることができた。

#### 【課題・意見】

分かりやすく親しみやすい紙面づくりを行うため、職員の資質向上を図るとともに、写真やカット（絵）などを積極的に活用したい。

### (2) ホームページによる情報発信

評価：b

#### 【事業の概要】

生涯学習に係る情報を町のホームページに掲載し情報発信する。

#### 【成果】

町のホームページに生涯学習情報を毎月の発行日に合わせて掲載した。また、駅伝大会参加者募集と結果報告、成人式要項と実施報告を掲載するなど、電子媒体を活用した生涯学習事業の周知、参加促進を図ることができた。

#### 【課題・意見】

情報量としては少ない。多様な情報発信ができるよう努めていく必要がある。

### (3) 地区公民館活動補助事業

評価：a

#### 【事業の概要】

地区公民館が行う生涯学習活動を推進するため、その活動に要する経費の一部を補助し、地区の活性化と生涯学習を支援する。

#### 【成果】

22地区に1,430,000円を補助。子ども会活動事業分では、6地区に135,048円を補助し、生涯学習活動を推進した。

#### 【課題・意見】

より多くの地区で事業が実施されるよう周知していく必要がある。

### (4) 研修参加による職員の資質向上

評価：b

#### 【事業の概要】

生涯学習事業等の企画立案から運営まで行える職員の育成を図るため各種研修会に参加する。

#### 【成果】

生涯学習推進職員研修会、公民館研究大会、社会体育総合研修会、同和教育研修会等、各種研修会に参加した。

#### 【課題・意見】

研修会や大会、会議等が多く開催されるため、日程調整や取捨選択が必要である。職員体制の維持、職員の資質向上が必要である。

## 指導者・指導体制の充実

総合評価：B (75.0)

#### 施策のねらい

- ・ 多様化、高度化する学習要求に対応できる指導体制の確立
- ・ 地域における指導者の発掘と指導者の育成、資質の向上

### (1) 生涯学習地区推進員の活用

評価：b

#### 【事業の概要】

各地区に生涯学習推進員を委嘱し、各地区の公民館等を拠点に生涯学習活動への意欲向上、活動援助等を行う。

#### 【成果】

生涯学習推進員を計43名委嘱し、各地区における生涯学習事業の推進に努めた。

#### 【課題・意見】

各地区で生涯学習活動を行うには指導力や企画力とともに時間が必要となる。適任者の確保、推進員の研修の機会をつくっていきたい。

## (2) 生涯学習ボランティア養成講座

評価：b

### 【事業の概要】

生涯学習に係るボランティアを育成するため、企画から運営までのスキルアップ講座を行う。

### 【成果】

生涯学習ボランティア養成講座という名称では実施できなかったが、妙高青少年研修やゆうゆう教室などの青少年教育事業においてボランティアを募集し、各事業に必要な研修を実施した。

### 【課題・意見】

青少年事業におけるボランティア育成については一定の成果をあげており、今後も継続していく必要がある。指導者育成の観点から研修の機会を設ける検討をしていく必要がある。

## 施設整備

総合評価：A (100)

### 施策のねらい

- ・ 学習環境の整備

## (1) (仮) 地域交流会館の建設

評価：a

### 【事業の概要】

老朽化した町公民館の代替施設及びまちづくりの拠点整備として、(仮) 地域交流会館を建設するための準備を行う。

### 【成果】

(仮) 地域交流会館の整備にかかる検討を行うとともに、建設基金元金積立金として5,000万円を積み立てた。

### 【課題・意見】

道の駅整備の主管課が総務課に移管されたが、建物の仕様検討、設置条例整備等については引き続き主体的に取り組んでいく必要がある。

## (2) 原ヶ崎交流センターの整備

評価：a

### 【事業の概要】

(仮) 地域交流会館と合わせ生涯学習及びまちづくりの拠点整備を行うため、原ヶ崎交流センターを改修するための準備を行う。

### 【成果】

原ヶ崎交流センター改修のための検討を行った。

### 【課題・意見】

改修工事の基本設計、設置条例整備等について取り組んでいく必要がある。

## 4.主体的な学習活動の支援

**学習機会の充実**

**総合評価：A (88.8)**

施策のねらい

- ・ 各年齢層における学習ニーズに対応した講座、教室の開催
- ・ 多様化する現代的課題に向けた学習機会の提供
- ・ 郷土の理解を深める各種講座、教室の開催

### (1) ゆうゆう教室

評価：a

【事業の概要】

レクリエーション、自然体験、創作活動等を通じ、楽しむことの中から子ども達の自主性や協調性、創造性及び豊かな情操を育む。

【成果】

開催回数11回、延べ参加者数351人が参加した。新潟経営大学と連携し、大学生が主体的に企画に関わることができた。

【課題・意見】

高学年の参加者が少ないことから、高学年向きプログラムを検討する必要がある。

### (2) 夏休み妙高青少年研修

評価：b

【事業の概要】

集団生活を通じ協調性、忍耐力、社会性を養うとともに、自然に親しむ機会をつくる。また、地域等でリーダーとして活躍できる青少年の育成と世代間交流の推進を図る。

【成果】

参加者12人、学生スタッフ7人が参加。加茂市と連携して開催したため、子ども、学生スタッフ、引率者等、多様な人間関係の中で社会性を育むことができた。

【課題・意見】

学校行事と重複したこともあり、定員55人のところ参加者が少なかった。開催日程等を検討する必要がある。

### (3) 子ども夏休み教室

評価：a

【事業の概要】

遊びや伝統文化、生活、自然の中での体験により、心身の健やかな成長をもたらす学習機会を提供する。

【成果】

新潟日報おもしろしんぶん館訪問、ニジマスつかみ取りにチャレンジ、こどもの防災半日キャンプを実施し、延べ66人が参加した。

【課題・意見】

夏休み期間中の行事等が多く日程調整が困難だった。

#### (4) 大人のためのゼミナール

評価：a

##### 【事業の概要】

主に成人向けの各種教室（講座）を開催し、青年、壮年層の生涯学習参加へのきっかけづくりとする。また、生涯学習指導者の発掘の場とする。

##### 【成果】

トレッキング、スローフード、ハーブ講座、パソコン講座、笑いヨガなど5つのテーマで計14回開催し、延べ225人が参加した。ハーブ講座の人气が高く、同じ内容を複数回開催してほしいと要望があった。

##### 【課題・意見】

より幅広いニーズに対応していくとともにマンネリ化を防ぐため、多様な学習テーマを取り上げていく必要がある。

#### (5) 生涯学習行政出前講座

評価：a

##### 【事業の概要】

町が重点的に取り組んでいる施策や暮らしに身近なテーマなどを用意し、職員が出向き直接町民に説明、意見交換することにより、町政への関心を深めるとともに、生涯学習意識の啓発と行政の活性化を図る。

##### 【成果】

防災（総務課）、認知症予防（保健福祉課）、将来の田上町（総務課）をテーマに3回開催し、延べ168人が参加した。

##### 【課題・意見】

今後も事業を継続していくとともに、町民への周知を行っていく。

#### (6) ストレッチ教室

評価：a

##### 【事業の概要】

家庭でも気軽にできる体操を通して、日常生活に運動を取り入れ、健康増進、体力向上を図る。

##### 【成果】

開催回数23回、延べ682人が参加した。健康づくり教室として定着している。

##### 【課題・意見】

今後も継続し、町民の健康づくりを支援する。

#### (7) 早朝ハイキング

評価：b

##### 【事業の概要】

朝の清々しい空気を吸いながら護摩堂山を登り、頂上でラジオ体操を行うなど交流を深める。納会では皆勤賞、精勤賞を表彰する。

##### 【成果】

計7回実施し、延べ164人が参加。皆勤賞17人、精勤賞1人を表彰した。

##### 【課題・意見】

今後も継続し、町民の健康づくりを支援する。参加者が減少傾向にあるため、創意工夫をしていく必要がある。

(8) 囲碁将棋大会

評価：b

【事業の概要】

囲碁将棋を通じ参加者同士の交流、親睦を深める。

【成果】

囲碁の部16人、将棋の部9人、計25人が参加した。

【課題・意見】

囲碁、将棋の普及、町民のコミュニケーションの場として機能している。今後も継続していきたい。参加者が減少傾向にあるため、創意工夫をしていく必要がある。

(9) ふるさと歴史講座

評価：b

【事業の概要】

郷土の歴史を学ぶ講座を開催し、郷土愛を育む。

【成果】

「慶長5年 越後一揆」、「お笑いの歴史のひもとく」と題し、2回開催し、計24人が参加した。

【課題・意見】

郷土歴史研究会が解散後、公民館で活動する歴史研究会が存在しない。郷土歴史研究家を育成していくため、定期的に開催していく必要がある。

主体的な活動への支援

総合評価：B (75.0)

施策のねらい

- ・ 指導者の養成
- ・ 自主的なグループ活動の支援

(1) 体験活動支援センター

評価：b

【事業の概要】

地区やPTA、個人の生涯学習活動及び体験活動を支援するため、情報の収集と提供を行う。

【成果】

田上甚句講習、子どものスポーツ体験、総合学習など計10件の相談があった。

【課題・意見】

相談件数が少ない。相談に対応できるよう職員の資質向上を図るとともに、周知活動により知名度を高めていく必要がある。

(2) 各種サークル活動の育成

評価：b

【事業の概要】

公民館等で活動するサークルの相談や情報発信などの支援を行う。

**【成 果】**

生涯学習情報を活用し、参加者募集やサークル開催日等の情報発信を行うとともに、サークルからの相談に応じた。

**【課題・意見】**

文化協会加盟団体数が減少するとともに、サークルを結成しようという団体も減少している。

## 5.生涯スポーツの推進

### 生涯スポーツの普及

総合評価：B (75.0)

施策のねらい

- ・ 誰もが気軽に楽しめるような体制づくり並びにニュースポーツの普及
- ・ スポーツの正しい知識や技術、マナー習得ができる各種教室の開催
- ・ スポーツ振興を促進するための指導者の育成、研修会等の実施

#### (1) 田上町スポーツ協会との連携と支援

評価：b

**【事業の概要】**

体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブが合併し結成された田上町スポーツ協会と連携し、生涯スポーツの普及を図る。

**【成 果】**

各種大会や教室の運営を委託する「各種大会等委託契約」を締結。初年度であり引継ぎに時間が要する等の問題もあったが、専門的な知識の下で大会が開催されることで、円滑な大会運営を行うとともに、運営スタッフの育成を図ることができた。

**【課題・意見】**

田上町スポーツ協会の結成初年度であり、財政・人材・運営ノウハウ等において課題を持っている。スポーツ協会への支援を行うとともに、連携体制を構築していく必要がある。

#### (2) 佐藤杯争奪町内駅伝競走大会

評価：a

**【事業の概要】**

青少年のスポーツ振興を図るため、郷土の生んだマラソン界の権威である佐藤秀三郎氏より優勝杯が贈られた。その争奪戦として、並びに町内の青少年の体力・精神力の向上を目的に開催する。

**【成 果】**

学校行事と重なり中学生チームの参加が少なかったが、計22チームが参加した。町スポーツ協会、スポーツ推進員等の協力もあり、円滑に大会を開催することができた。

**【課題・意見】**

参加チームも一定の水準を維持しており、町を代表するスポーツイベントとして定着している。今後も継続していきたい。

### (3) 田上町スキー教室

評価：c

#### 【事業の概要】

スキー技術の習得・向上とともに、スキーの楽しさや冬山の自然体験を通じて、町民相互の交流を促進する。

#### 【成果】

計10人が参加。昨年度比で4人増加となったが、依然として参加者が少ない状況であった。

#### 【課題・意見】

スキー人口減少という社会的動向もあるが、参加者が少ない状況が続いている。問題点を把握し改善するとともに、ウィンタースポーツ全般に視野を広げて検討していく必要がある。

### (4) スポーツ推進委員主導による生涯スポーツの普及

評価：b

#### 【事業の概要】

スポーツ振興を促進するための指導者育成、研修会等を実施する。

#### 【成果】

各種研修会4回、延べ10人が参加。定例会を7回開催した。町スポーツ協会と連携し、スポーツ少年団入団式や佐藤杯駅伝等の運営に積極的に関わった。委員それぞれがスポーツ団体の運営、水泳指導のボランティア等の活動を行っている。

#### 【課題・意見】

適任者を確保していく必要がある。

## スポーツ施設の整備

総合評価：A (87.5)

#### 施策のねらい

- ・ 各種体育施設の整備充実
- ・ 学校体育施設の有効活用、管理運営体制の確立

### (1) 体育施設の維持管理

評価：b

#### 【事業の概要】

各体育施設の適正な維持管理を行う。

#### 【成果】

羽生田野球場外野芝生張替工事（1,836,000円）をはじめ、各施設の維持管理に努めた。

#### 【課題・意見】

施設の老朽化に伴い計画的な修繕、管理を行う必要がある。

## (2) 学校開放事業

評価：a

### 【事業の概要】

夜間、休日等に社会体育施設の補完施設として、小中学校の体育施設を一般団体へ貸し出すことで生涯学習、スポーツの推進を図る。

### 【成果】

小中学校の体育館、中学校の武道場について学校開放を行った。各施設とも飽和状態となっているが、団体間で調整して利用している。

### 【課題・意見】

今後、利用団体が増加した場合、抽選等を検討する必要がある。

## 主体的な活動の促進

総合評価：A (87.5)

### 施策のねらい

- ・ 田上町スポーツ協会を中心とした各団体の育成強化と競技力向上
- ・ 生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及び多様なニーズへの対応
- ・ スポーツに対する認識の高揚

## (1) 全国大会出場者への褒賞制度

評価：a

### 【事業の概要】

スポーツ・文化を通じて、町の代表若しくは団体の代表として各種競技会に参加、または審査会、発表会等で優秀な成績を収めた町民を褒賞する。

### 【成果】

延べ30人、340,000円を授与した。うち1人については、ワールドロボットコンテストに参加することになり、検討の結果、50,000円の褒賞金を授与した。

### 【課題・意見】

制度の周知を行い、申請忘れを防いでいく必要がある。

## (2) 田上町スポーツ協会との連携と支援（再掲）

評価：b

### 【事業の概要】

体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブが合併し結成された田上町スポーツ協会と連携し、生涯スポーツの普及を図る。

### 【成果】

各種大会や教室の運営を委託する「各種大会等委託契約」を締結。初年度であり引継ぎに時間が要する等の問題もあったが、専門的な知識の下で大会が開催されることで、円滑な大会運営を行うとともに、運営スタッフの育成を図ることができた。

### 【課題・意見】

田上町スポーツ協会の結成初年度であり、財政・人材・運営ノウハウ等において課題を持っている。スポーツ協会への支援を行うとともに、連携体制を構築していく必要がある。

## 6.芸術・文化の振興

### 芸術文化活動の推進

総合評価：A (87.5)

#### 施策のねらい

- ・ 各種団体などに日頃の活動成果を発表する機会の提供
- ・ 優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供
- ・ 各種開催情報の提供、活動への参加促進

#### (1) 文化祭の開催

評価：a

##### 【事業の概要】

発表の機会をつくるとともに、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。

##### 【成果】

- ・ 展示の部：作品数375点、出展者数246人、来場者数837人
- ・ 芸能の部：出演団体18団体（174人）、来場者数373人

来場者数拡大のため、加茂暁星高校茶道部による茶会や大人のゼミナールで好評のハーブ講座を同時開催した。

##### 【課題・意見】

文化協会の加盟団体の減少等により、作品数、出展出演者数についても減少傾向が続いているため、大学連携による学生作品の出展や公民館活動における成果発表など、幅広い視点に立って出展数、出演者数、来場者数の増加を図る必要がある。

#### (2) ロビーコンサート等の音楽振興

評価：b

##### 【事業の概要】

発表の機会をつくるとともに、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。

##### 【成果】

音楽振興基金を活用しロビーコンサートを再開した。

##### 【課題・意見】

(仮)地域交流会館建設後、施設を有効に活用することができるよう音楽団体の育成を行う必要がある。

### 活動組織、指導者の育成

総合評価：B (75.0)

#### 施策のねらい

- ・ 文化協会など各種団体との連携、協力体制の強化
- ・ 各種団体などの活動促進

(1) 芸術、文化に関する指導者、活動組織の育成 評価：b

【事業の概要】

公民館等で活動するサークルの相談や情報発信等の支援を行う。

【成果】

生涯学習情報を活用し、参加者募集やサークル開催日等の情報発信を行うとともに、サークル等からの相談に応じた。

【課題・意見】

(仮) 地域交流会館建設後、施設を有効に活用することができるよう音楽団体の育成を行う必要がある。

(2) 文化協会への支援 評価：b

【事業の概要】

文化協会との連携、協力体制の強化。

【成果】

文化協会の活動費の一部237,000円を補助した。また、文化協会だよりを連携して編集、発行した。

【課題・意見】

文化協会加盟団体が減少傾向となっている。団体の結成や支援をしていく必要がある。

## 7.文化財と伝統芸能の継承

### 文化財の保存・活用

総合評価：B (75.0)

施策のねらい

- ・ 文化財や埋蔵文化財などの文化的遺産の啓発
- ・ 指定文化財所有者の協力による保存

(1) 指定文化財の管理助成 評価：b

【事業の概要】

指定文化財所有者の保存に対して、その費用の一部を助成する。

【成果】

国指定文化財：1件 10,000円

県指定文化財：1件 10,000円

町指定文化財：4件 20,000円

名木管理助成：7件 35,000円

【課題・意見】

指定文化財の看板が老朽化しており計画的な修繕・更新が必要。

## (2) 文化財の一般公開

評価：b

### 【事業の概要】

文化財や埋蔵文化財などの文化的遺産の啓発

### 【成果】

行屋崎遺跡出土品を役場ロビーに展示するとともに、県指定文化財の薬師如来坐像を文化祭で展示した。

### 【課題・意見】

町民への啓発につながるよう展示の機会を確保、積極的な啓発が必要である。

## 伝統芸能の継承

総合評価：B (75.0)

### 施策のねらい

- ・ 各種保存団体との連携による伝統芸能の発表の場、PR活動の促進、後継者の育成支援

## (1) 伝統芸能の保存のための支援と公開

評価：b

### 【事業の概要】

各種保存団体との連携による伝統芸能の発表の場の確保や後継者の育成支援を行う。

### 【成果】

田上甚句太鼓保存会と連携し、講習会の開催や小学校での指導等を実施した。五社神社や川前地区の神楽舞については、連携した取組が実施できなかった。

### 【課題・意見】

各団体の活動状況の把握や映像による伝統芸能の保存が必要である。

## (2) 小学校での伝統文化継承

評価：b

### 【事業の概要】

伝統芸能の伝承のため小学校と連携した伝承活動を展開する。

### 【成果】

田上甚句については、小学校でのクラブ活動指導、運動会前の講習会、夏まつりでの小学生の発表支援を行った。

### 【課題・意見】

田上甚句については一定の取り組みが確保できているが、五社神社や川前地区の神楽舞との連携構築を検討する必要がある。